

# 「夜明け前のうたー消された沖縄の障害者」



- ① 障害者を隔離したかつての私宅監置制度ついて。その公的検証などの無策について
- ② 約40年という精神科の長期入院の国の責任を問う、精神医療国賠訴訟の東京高裁での敗訴について
- ③ 旧優生保護法下の強制不妊手術等をめぐる国賠訴訟の最高裁違憲判決とその後について

なぜ国は、優生政策の検証を怠り、問題を隠そうとしてきたのか。多くの市民は、なぜ沈黙してしまうのか。  
そして、文化庁の記念上映延期の問題は、どうなったのか？

2025年 **参加費 1500円**  
シンポジウムのみ参加 **1200円**

● **9月6日（土）**

13:45開場

14:15開映（～15:52）

16:00シンポジウム

◆ゲスト：藤井克徳さん（障害者団体代表）  
：平良愛香さん（牧師）

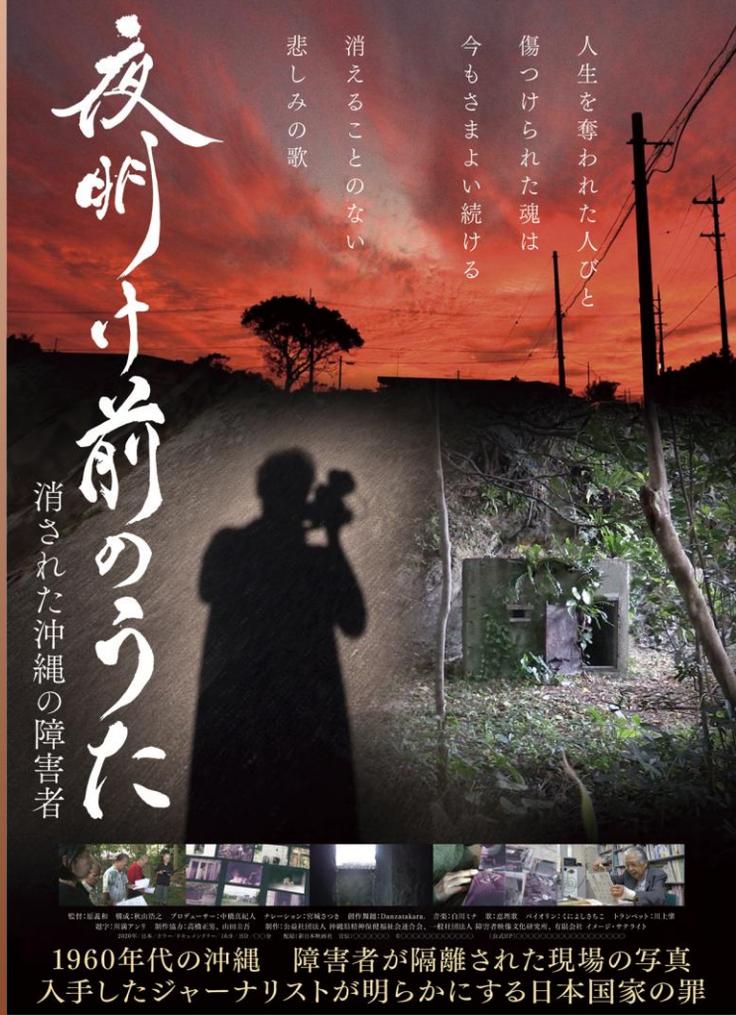
◆監督：原 義和

17:15終了 シンポジウムのみ参加もOKです

会場：**秋葉原ハンドレッド**

- ①JR秋葉原駅 昭和通り口1番出口7分
- ②JR総武線 浅草橋駅 西口5分

東京都台東区浅草橋5-3-2  
秋葉原スクエアビル2F



1960年代の沖縄 障害者が隔離された現場の写真  
入手したジャーナリストが明らかにする日本国家の罪

★UD cast に対応しています

**文化庁は、なぜ上映を延期し続けるのか  
家族の苦情は、どう受け止めるべきか**

# 優生思想を根絶するには

① 私宅監置制度により、数えきれない障害者が甚大な**人生被害**を受けましたが、その実数や態様について、公的な検証や総括は行われていません。

私宅監置は、現在の精神保健福祉法に引き継がれており、例えば「医療保護入院」などの制度に形を変え、隔離収容政策は今日まで続いています。

検証を怠ることが、**被害の連鎖**を生み出してはいないか、考えます。

② 精神病院で40年にわたり**長期入院**を余儀なくされ、地域で生きる権利を奪われたとして、障害当事者である伊藤時男さんが国を訴えた裁判があります。

この7月、東京高裁はその請求を棄却。長期入院の根拠となっていた**医療保護入院**制度について、適切な手続きを欠いているなど違憲性があると問うていましたが、判決はその主張をましました。被害者を二重に苦しめる「不当判決」だと評されています。

③ **旧優生保護法**のもと不妊手術などを強制された被害者が国を訴えた裁判では、最高裁は**憲法違反**とし、国の賠償責任を認めました。総理大臣の謝罪にもつながっています。社会が少しずつでも前進していることを、希望したいと思います。

判決から1年。補償問題は、被害者の掘り起こしなど多くの困難を抱え、名誉回復は未だ十分になされていません。しかし、第三者機関による調査検証の取り組みがいよいよ動き出します。

そして、もう一つ。この映画は**文化庁**の映画賞をいただきましたが、贈賞に伴って行われるはずの**記念上映が延期**になっています。映画に登場する私宅監置被害者の家族による苦情のためです。あの問題はどうなったのか…この機会に説明責任を果たしたいと思います。

その家族からは、その後民事訴訟が提起されましたが、裁判官には和解を強く勧められ、ことし6月、**和解が成立**しました。和解では映画の間違いが指摘されたわけでも、修正が求められたわけもなく、映画の背景となる事実を互いに確認でき、争われていた点は整理がつかしました。公的な結着が図られ、記念上映実施の環境は整うことになりました。

今後の成り行きを注視していただければ幸いです。

## ◆ 監督 原 義和

1969年 愛知県名古屋生まれ  
2005年より 沖縄を生活拠点にドキュメンタリー番組の企画制作を行う  
主な制作番組：「戦場のうた～元「慰安婦」の胸痛む現実と歴史」（琉球放送/日本民放連テレビ報道番組最優秀賞）、「Born Again～画家 正子・R・サマーズの人生」（琉球放送/第54回ギャラクシー賞優秀賞）等  
☆2021年、映画「夜明け前のうた～消された沖縄の障害者」を劇場公開  
☆2025年8月16日(土)～29日(金) 東京・新宿K's cinemaにて 新作「豹変と沈黙一日記でたどる沖縄戦への道」を公開



## ◆ゲスト：藤井克徳さん

子どもの頃から弱視で、40代後半で全盲となる。養護学校で働く傍ら、障害者が働くための「共同作業所」を立ち上げ、その全国組織の結成や運営にも携わる。国連の障害者権利条約ができる時には日本の障害者の声を伝えに度々国連に飛ぶなど日本の障害者運動をリードしてきた。NPO法人日本障害者協議会代表・きょうさん専務理事・優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会共同代表 ほか。

## ◆ゲスト：平良愛香さん

沖縄生まれ。日本で初めて男性同性愛者であることをカミングアウトした上で牧師となる。現在、日本基督教団川和教会牧師、平和を実現するキリスト者ネット事務局代表、農村伝道神学校校長、日本カトリック司教協議会社会福音化事務課HIV/AIDSデスク委員など、幅広く活動中

主催：原 義和（「夜明け前のうた」監督）

連絡先：nausicaa2020@goo.jp

090-1544-9350